

地区名:新開地域・上中入

お宝認定

# 夢人市笹っ子 嫁世代へ引き継がれたお店と木曽の食文化



お姑さん世代が当時、集まるために作った笹っ子。  
「今は嫁世代に引き継がれたってことだね」

笹っ子・ほおば巻・かぶ漬け  
・すんきなど木曽の食文化を守り、  
伝えています



昭和 62 年に野菜市から始まり、翌年から笹巻などの販売を始めた笹っ子ですが、発足のきっかけは野口さんのお姑さんの世代の方が「自分の畑で採れた野菜を何とかしたい」とせっつかれて始めたそうです。笹っ子の他に、春は朴葉巻、冬はかぶ漬けやすんきなどを作って販売したり道の駅に出荷しているそうです。

「始めた時はお姑さんの世代が集まるために作ったのだと思う。みんな楽しそうにやっていたよ。稼いだお金でハワイにも行ったんだよ！それが今は嫁世代に引き継がれたという事だね。私たちが皆で話しながらできるから楽しいよ！」とおっしゃっていました。

お姑さんの世代のものを、嫁世代が引き継いでいると聞いて、歴史の深さや繋がりやの深さが感じられました。昔懐かしい笹巻は笹っ子でしか味わえないので、これからも守って行って欲しいです。



[意味付け] 地域交流、地域貢献、おしゃべり、やりがい、仲間づくり、文化伝承